



初めまして、ドキドキ ワウワク!

交流会当日の様子

交流会会場で顔合わせをして、「なべなべそこぬけ」や「ジャンケン列車」などをして遊び、仲良しになってからペアで各教室のコーナーを回り、いろいろな体験をしました。



ジャンケン列車

黒板消し楽しい!



こうやって掃くのよ



説明をよく聞いてね!



モルモットかわいい〜



ランドセルはこうやって背負うのよ



鉛筆でおべんきょうコーナー

プリントの線上をなぞったり、



点と点を線で結んだりする。鉛筆の持ち方を教えてもらい、お姉さん先生の話聞いて描いていました。

上手に描けたね!



大きい絵本を読むから聞いてね!



交流会後の振り返り

どの学校もリハーサル通りにはいかず誘導に苦戦していました。「中々言うことを聞いてくれないんだもん。」と困り感を出しながらも人と関わる楽しさを感じたようです。興味をもった所から動いてくれない園児に対して、しゃがんで視線を合わせて話を聞き、根気よく関わっていました。そして、交流会後には「楽しかった。」「終わったー。」「たくさん来てくれた。」と、達成感を感じたようでした。

振り返りでは「優しくしてあげた。」「励ましてあげた。」「自分がお手本になった。」「本はゆっくり読んであげた。」などの意見が出され、その思いは感想文や絵に表れていました。計画を立て、準備から当日進行、園児のお世話など、いろいろな体験を通して成長した姿は、進級を間近に控え、大きな自信になったようです。

園児は、小学校生活を体験して1年生になる楽しみがさらに膨らんだようです。後日、園からお礼や感想の手紙が届いた学校もあり、就学への期待感を読み取ることができました。

保・幼から小学校へ、学びの連続性をより円滑に

幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向け、生活科を中心としたスタートカリキュラムが、新学習指導要領に明確に位置付けられ、総則には、小学校低学年は幼児教育で身につけたことを活かしながら教科などの学びにつなぎ、子どもたちの資質・能力を伸ばしていくことが明記されました。また、交流活動は、子どもたちだけではなく、教師・保育者間の連携を深めることにつながるため、一緒に年間計画を立て、小学校・保育園・幼稚園間で交流活動や情報交換などの連携を行い、そこで見えてきた子どもの育ちや学びを反映させるよう双方の教育をつなぐ接続期の重要性をより捉えることができました。